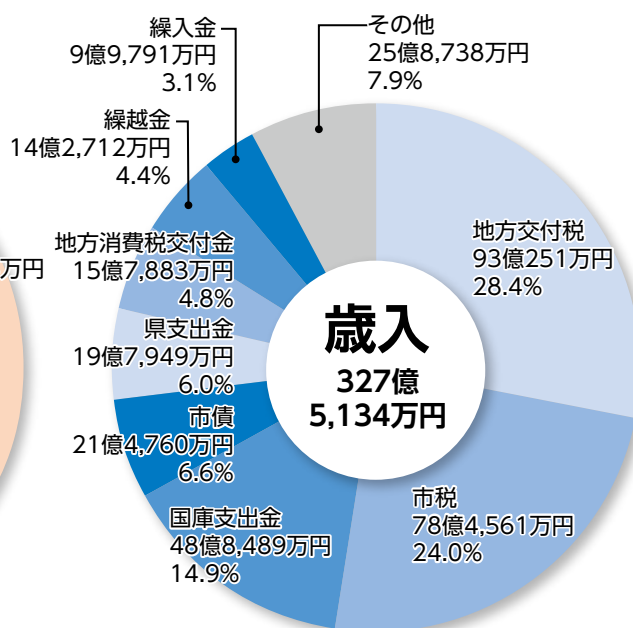
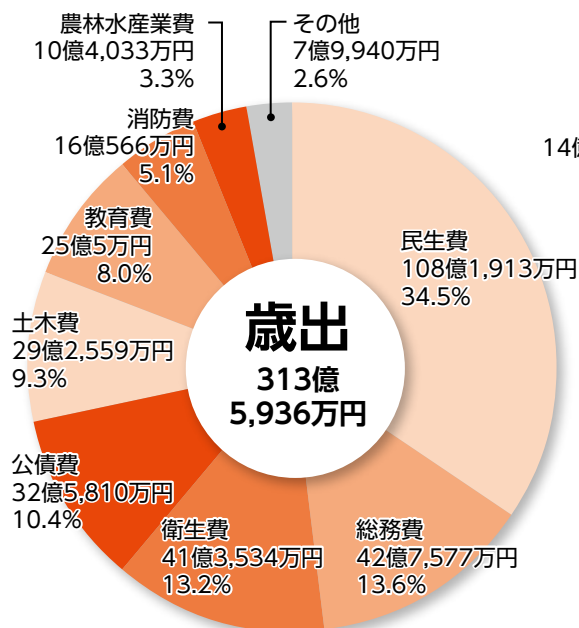


令和5年度決算の公表

令和5年度一般会計決算

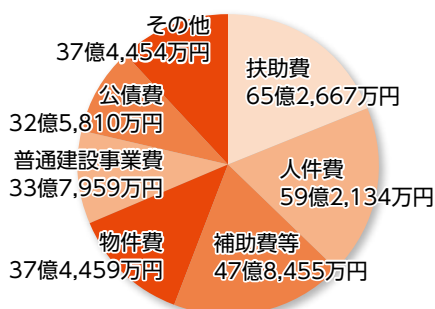


市民1人当りに使われたお金
50万4千円
(前年度比 +2.4%)

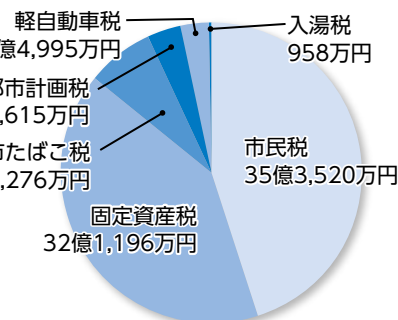
市民1人当たりが負担した市税
12万6千円
(前年度比 +0.8%)

人口 62,280人
(前年比 ▲787人)
(令和6年3月31日現在)

性質別歳出の内訳



市税の内訳



※各数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

歳出用語の解説



民生費…児童、高齢者、障がいのある人などの社会福祉にかかる経費
総務費…庁舎管理や税金の徴収、住民票などの発行にかかる経費
衛生費…健康増進や疾病予防、ごみ処理や環境保全、旭中央病院への負担金などにかかる経費
公債費…事業を行うために市が借り入れたお金の返済にかかる経費
土木費…道路や公園などの整備や維持管理にかかる経費
教育費…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの教育行政にかかる経費
消防費…消防や防災にかかる経費
農林水産業費…農業や水産業の振興にかかる経費
その他…議会の運営、商工業・観光の振興や就労支援などにかかる経費

目的税の使い道

都市計画税
公園や街路の整備、公共下水道などの都市計画事業に活用

入湯税
観光施設の整備や観光振興、消防施設の整備などに活用

一般会計決算

令和5年度一般会計の決算は、歳入327億5,134万円、歳出313億5,936万円で、歳入歳出の差引額13億9,198万円から翌年度に繰り越すべき財源1億8,060万円を控除した実質収支額は、12億1,138万円となりました。

問い合わせ先
財政課 財政班

☎ 62・5316



※決算書や財務書類などは、市ホームページで確認できます。

皆さんが納めた税金などの使い道や、市の財産、市が借りているお金はどのくらいになったかなどを知ってもらうため、令和5年度の決算を公表します。

令和5年度も

健全な財政運営を維持しています

―赤字や資金不足なし―

二つの比率で健全度をチェック

地方公共団体の財政破綻を防ぐための健全度チェックと、財政状況をより明らかにするため「健全化判断比率」と「資金不足比率」の算定・公表が義務付けられています。

●健全化判断比率

チェックする指標には、赤字額、借金の返済割合、将来への負担などがあります。これらの

●資金不足比率

公営企業の資金不足額を料金

指標が早期健全化基準を上回ると、破綻への危険信号がともる

「財政健全化団体」になり、財政再生基準を上回った場合は、企業の倒産状態と同じ「財政再生団体」となります。

令和5年度の決算に赤字はなく、全ての指標で国が示す早期健全化基準を大きく下回りました(表①)。

収入の規模と比較して、経営状況の深刻度を表す指標です。

令和5年度も公営企業会計(水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業)で「資金不足額なし」となり、経営健全化基準の20%を大きく下回りました。

市債(市が借りているお金)は
有利な地方債で

市では、お金を借りようとする際「実質公債費比率」や「将来負担比率」が高くならないよう、地方交付税算入国が借金返済額の一定額を交付税で配慮する(のある有利な地方債を選んで借りています(表②))。

■決算における主な事業

事業名	決算額
ふるさと応援寄附推進事業	1億 322万円
生涯活躍のまち形成事業	1億3,198万円
住民税非課税世帯等物価高騰対策給付金給付事業(追加給付分)	4億5,180万円
自立支援給付事業	13億7,481万円
子ども医療費助成事業	2億4,944万円
感染症予防対策事業	1億5,713万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億6,256万円
水田農業構造改革推進事業	1億5,502万円
農業水利施設改修事業	6,111万円
商業活性化推進事業	8,396万円
飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	6億2,780万円
南堀之内バイパス整備事業	2億3,552万円
消防庁舎整備事業	4億3,634万円
スポーツ施設管理運営費	1億2,632万円
学校給食センター運営費	5億1,821万円

■特別会計の決算

病院事業債管理特別会計	歳入	28億3,085万円
	歳出	28億3,085万円
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	歳入	81億5,446万円
	歳出	79億7,457万円
国民健康保険事業特別会計(施設勘定)	歳入	7,730万円
	歳出	6,366万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	8億1,655万円
	歳出	8億 115万円
介護保険事業特別会計	歳入	56億4,870万円
	歳出	54億 81万円

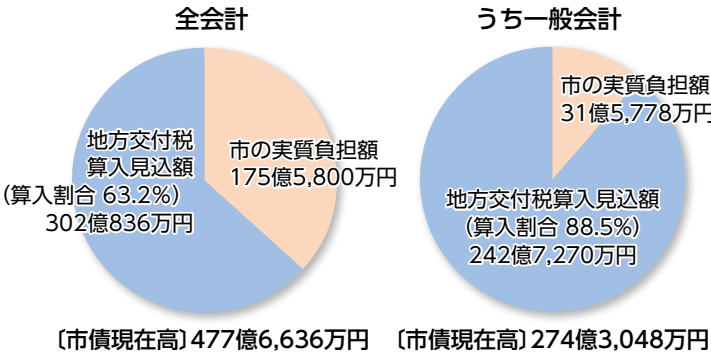
■公営企業会計の決算

水道事業会計	収益的収入	16億1,988万円
	収益的支出	15億2,032万円
	資本的収入	1億2,770万円
	資本的支出	2億7,507万円
公共下水道事業会計	収益的収入	5億8,907万円
	収益的支出	5億1,394万円
	資本的収入	2億4,783万円
	資本的支出	3億5,143万円
農業集落排水事業会計	収益的収入	8,420万円
	収益的支出	6,904万円
	資本的収入	1,851万円
	資本的支出	3,189万円

表①：健全化判断比率

指標	算定結果	早期健全化基準	財政再生基準	指標の説明
実質赤字比率	赤字額なし	12.58%	20.0%	一般会計などで、どの程度の赤字があるかを示すもの
連結実質赤字比率	赤字額なし	17.58%	30.0%	市全体で、どの程度の赤字があるかを示すもの
実質公債費比率	9.9%	25.0%	35.0%	市債の返済などに、どの程度の負担が見込まれるかを示すもの
将来負担比率	なし	350.0%		将来、どの程度の負担が見込まれているかを示すもの

表②：市債の現在高と市の実質負担額

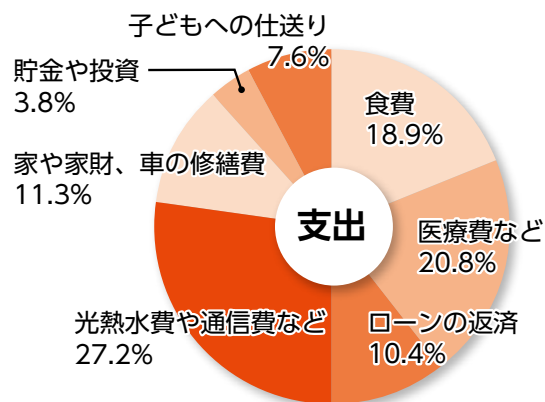
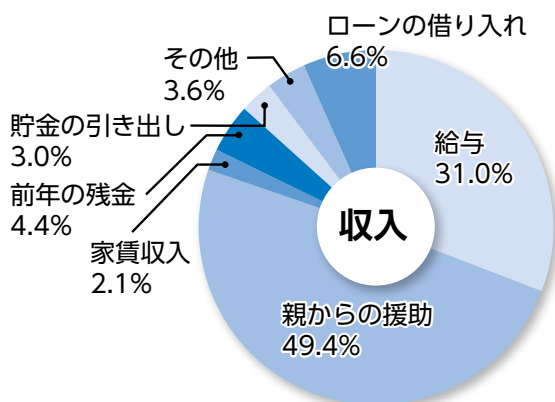


市の決算を家計に置き換えてみると

一般会計の決算を年収524万円*の家計に置き換えてみました。

※令和5年国民生活基礎調査の1世帯当たりの平均所得金額で算出。

収入		支出	
給与 (市税、地方譲与税、交付金)	162万円 (▲1万円)	食費 (人件費)※1	95万円 (同額)
親からの援助 (地方交付税、国・県支出金)	259万円 (7万円)	医療費など (扶助費)※2	104万円 (12万円)
家賃収入 (分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など)	11万円 (▲1万円)	ローンの返済 (公債費)※3	52万円 (1万円)
前年の残金 (繰越金)	23万円 (▲10万円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)※4、※5	137万円 (▲20万円)
貯金の引き出し (繰入金)	16万円 (1万円)	家や家財、車の修繕費 (維持補修費、普通建設事業費など)※6	57万円 (7万円)
その他 (寄附金、諸収入)	19万円 (▲1万円)	貯金や投資 (積立金、投資及び出資金など)※7	19万円 (同額)
ローンの借り入れ (市債)	34万円 (5万円)	子どもへの仕送り (繰出金)※8	38万円 (同額)
合 計	524万円	合 計	502万円



- ※1 人件費…職員の給与や議員報酬など
- ※2 扶助費…生活保護、障がい者支援、医療費助成、児童手当の給付などに使ったお金
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済に使ったお金
- ※4 物件費…光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- ※5 補助費等…各種団体への補助金や負担金など
- ※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などに使ったお金
- ※7 積立金…市の貯金(基金)に積み立てたお金
- ※8 繰出金…特別会計の歳入を補うために使ったお金